

大使館情報

2024年1月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（12月の出来事）

【内政】

- (1) ルーラ政権支持率（Datafolha 社世論調査）
- (2) 新たな連邦最高裁判所（STF）判事及び連邦検察庁（PGR）長官が決定

【外交】

- (1) ルーラ大統領の COP28 出席
- (2) 伯独首脳会談
- (3) メルコスール首脳会議の開催
- (4) 伯ベネズエラ首脳電話会談
- (5) 伯人及びパレスチナ人のガザ地区からの退避

3. トピックス

- (1) 林大使のサンパウロ訪問（12月14～15日）
- (2) アニメサミット・チビへの参加（12月16日）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（12月発表の経済指標）

- (ア) 10月の鉱工業生産は前月比+0.1%、前年同月比+1.2%となった。
- (イ) 10月の小売売上高は前月比▲0.3%、前年同月比+0.2%となった。
- (ウ) 11月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.28%となった（前月：+0.24%）。直近12か月累計は+4.68%となり、前月（同+4.82%）となった。
- (エ) 失業率（9～11月）は7.5%となり、3か月前（6～8月）の移動平均7.8%から0.3%ポイント低下。また前年同期（2022年9～11月）の8.1%から0.6%ポイント低下した。
- (オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、12月29日時点で、GDP成長率予測については、2023年は+2.92%（前週から変わらず）で、2024年は+1.52%（前週から変わらず）となった。インフレ率については、2023年は4.46%（前週から変わらず）で、2024年は3.90%（前週から0.01%ポイント低下）となった。

(ア) 経済政策等

- (ア) 12月15日、付加価値税の創設を含む税制改革に係る憲法修正案が下院で可決。同月20日に同憲法修正が公布された。
- (イ) 12月22日、2024年予算案が両院本会議において可決された。同予算では35億レアルのプライマリーバランスの黒字が見込まれている。

(3) 金融政策

12月12日及び13日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を50bp引き下げて11.75%とすることが決定された。次回会合は1月30日及び31日に開催予定。

(4) 為替市場（レートは伯中銀の公表値から算出）

- (ア) 12月の為替市場は4.83～4.96レアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は4.89～4.96レアル/ドルで推移。内外の金融政策の見通しや伯経済の動向等を材料に上下して推移した。
- (ウ) 月の後半は4.83～4.94レアル/ドルで推移。伯の税制改革の進展や信用格付けの引上げ等を材料に概ね上昇傾向で推移した。

(5) 株式市場

- (ア) 12月の株式市場は125,623～134,194ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は125,623～130,842ポイントで推移。内外の金融政策の見通しや資源価格の動向等を材料に上下して推移した。
- (ウ) 月の後半は130,804～134,194ポイントで推移。伯の税制改革の進展や信用格付けの

引上げのほか、資源価格の動向等を材料に、概ね上昇傾向で推移した。

2. ブラジル政治情勢（12月の出来事）

【内政】

（1） ルーラ政権支持率（Datafolha 社世論調査）

12月5日、Datafolha社が2004人を対象に実施した世論調査によると、ルーラ政権に対する「非常に良い／良い」が38%、「普通」は30%、「悪い／非常に悪い」は30%であった。

（2） 新たな連邦最高裁判所（STF）判事及び連邦検察庁（PGR）長官が決定

12月13日、上院は、空席となっていたSTF判事に関し、フラヴィオ・ディーノ法務治安大臣の就任を承認した。同日、上院は、同じく空席となっていたPGR長官に、パウロ・ゴネチ前選挙検察庁（PGE）次席検事の就任を承認した。両名はルーラ大統領により各々指名されていた。ゴネチPGR長官は12月18日、同長官に就任した。ディーノ大臣は2024年2月22日にSTF判事に就任する予定である。

【外交】

（1） ルーラ大統領のCOP28出席

12月1日から3日にかけて、ルーラ大統領は、COP28出席のためアラブ首長国連邦（UAE）を訪問し、同会議に参加した。同大統領は、COP28の開会式において、世界は、兵器に使っている2,224兆米ドルを飢餓と気候変動対策につかうべきであり、気候変動のつけを払うのは貧しい人たちであると述べた。また、ムハンマド・アラブ首長国連邦大統領、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長、サンチェス・スペイン首相、ディアスカネル・キューバ大統領、ファキ・アフリカ連合（AU）委員長、アリ・エチオピア首相と会談を実施した。

（2） 伯独首脳会談

12月4日、ルーラ大統領は、第2回伯独政府間協議の開催に際し、ドイツを訪問し、ショルツ首相と会談を実施した。両首脳は、既存の戦略的パートナーシップを補完し、社会的に公正なエコロジー移行に向けた共同の取り組みとして、「社会的に公正なエコロジー移行のための伯独パートナーシップ」を発足させることを決定した。

（3） メルコスール首脳会議の開催

12月7日、リオデジャネイロにおいて、第63回メルコスール首脳会議が開催された。フェルナンデス・アルゼンチン大統領（当時）、ペニャ・パラグアイ大統領、パウ・ウルグアイ大統領、アルセ・ボリビア大統領が出席した。ルーラ大統領は、メルコスール首脳会議の開会式において、アジア圏と初めての自由貿易協定であるメルコスール・シンガポール自由貿易協定の締結、ボリビアのメルコスール加盟を祝した。

（4） 伯ベネズエラ首脳電話会談

12月9日、ルーラ大統領は、マドゥーロ・ベネズエラ大統領と電話会談を実施した。ルーラ大統領は、マドゥーロ大統領にエセキボ地域の係争に対する南米諸国の高まる懸念を伝えた。また、ルーラ大統領は、同地域情勢がエスカレートするような一方的な措置を避けることが重要であると強調した。

(5) 伯人及びパレスチナ人のガザ地区からの退避

12月21日、伯人及びその親族のパレスチナ人合計32名がガザ地区から退避した。男性7人、女性11人、未成年者14人からなる一行は、ガザ地区の国境で在エジプト伯大使館の職員に出迎えられ、カイロに移動した。22日に伯空軍機でエジプトを出発し、23日の朝、ブラジリア空軍基地に到着した。10月7日以降、計1,555人と53匹のペットが救出された。

3. トピックス

(1) 林大使のサンパウロ訪問（12月14～15日）

12月14～15日の間、林大使はサンパウロ市を訪問した。

12月14日午前はブラジルパラリンピック委員会（CPB）のミザエル・コンラード会長を表敬訪問し、スポーツを通じた日伯連携強化について意見交換を行った。その後、CNNブラジルの日系人キャスターであるユーリ・ピッタ氏、フェルナンド・ナガカワ氏と日伯の政治経済情勢等について意見交換を行った。



ブラジルパラリンピック委員会（CPB）の
コンラード会長と



CNNキャスターのユーリ氏、フェルナンド氏と

同日午後はジャパン・ハウス・サンパウロで行われた官民合同会議に参加し、各商工会議所の代表の方々と活発な意見交換を行った。また翌15日は日伯文化スポーツ公園内のミエ・ニシ市民球場やブラジル相撲連盟道場の視察等を行った。

(2) アニメサミット・チビへの参加（12月16日）

12月16日、林大使は議会クラブにて実施された「アニメサミット・チビ」に人気漫画「鬼滅の刃」の竈門炭治郎のコスプレで参加し、出店ブースなどを視察した後、開会式に登壇し挨拶を行った。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館：[facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在ベレン領事事務所：[facebook](#)

在マナウス総領事館：[facebook](#)

在レシフェ総領事館：[facebook](#) [instagram](#)

在リオデジャネイロ総領事館：[facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在サンパウロ総領事館：[facebook](#) [YouTube](#)

在クリチバ総領事館：[facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和5年度第2四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2023年12月6日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspotazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2023年8月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開しています。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2023年4月11日

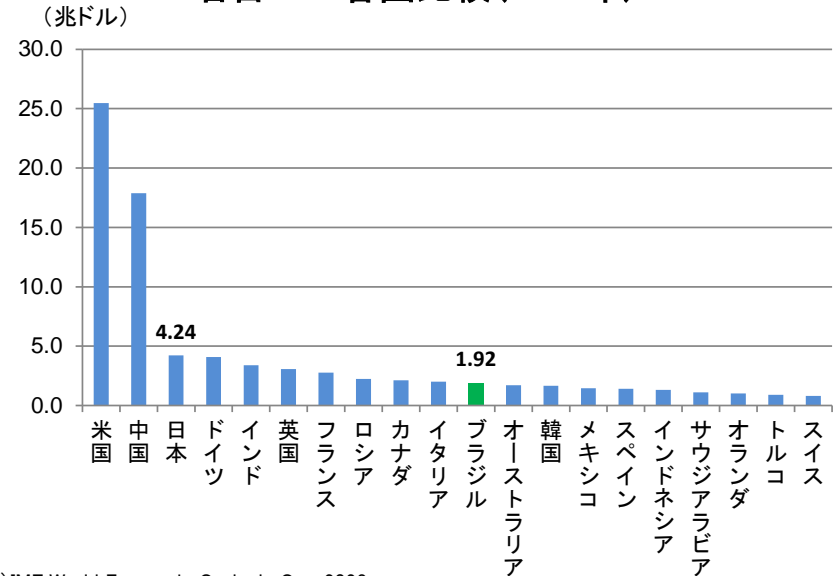
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

1. 経済構造

1. 人口約2億300万人、面積約851万km²(2022年国勢調査)
2. 世界第11位の経済規模(名目GDP約1.92兆ドル(2022年):日本の約45%)。一人当たりGDP(約9,455ドル(2022年))は、日本の約28%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別で見ると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

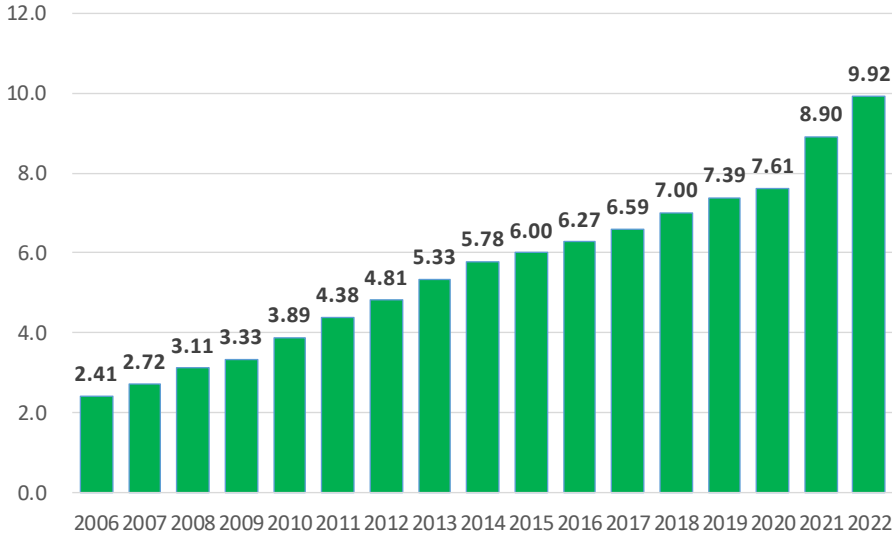
名目GDP各国比較(2022年)



(出典)IMF World Economic Outlook, Oct, 2023

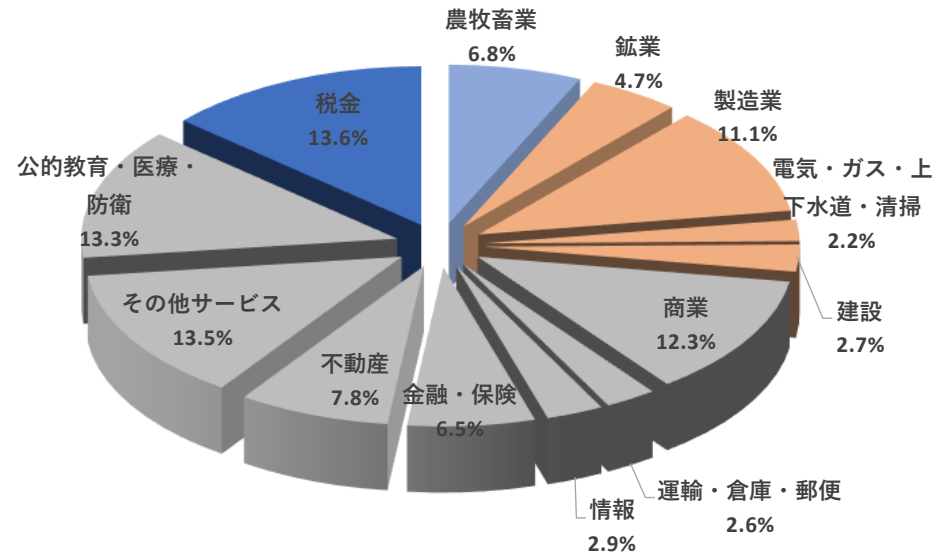
名目GDPの推移

(兆リアル)



(出典)伯地理統計院 (IBGE)

名目GDPの産業別構成比(2022年)

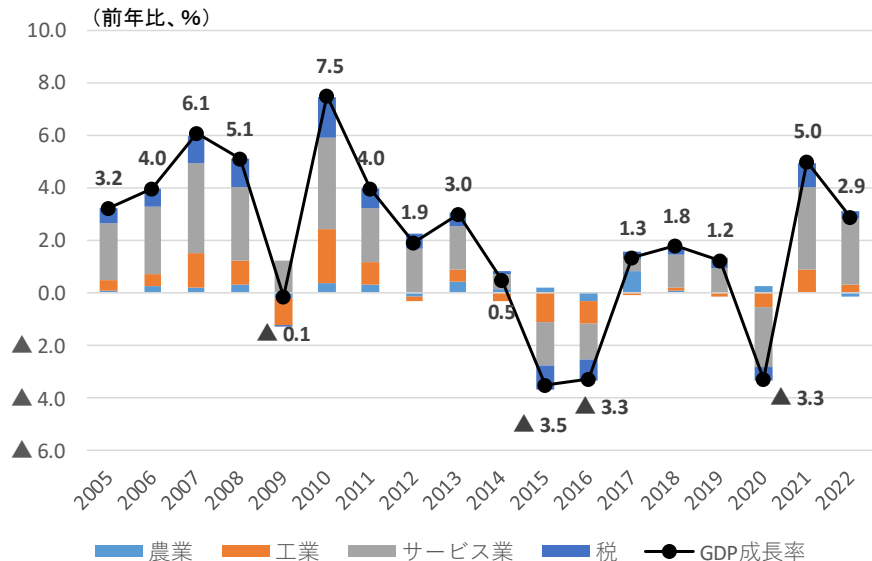


(出典)伯地理統計院 (IBGE)

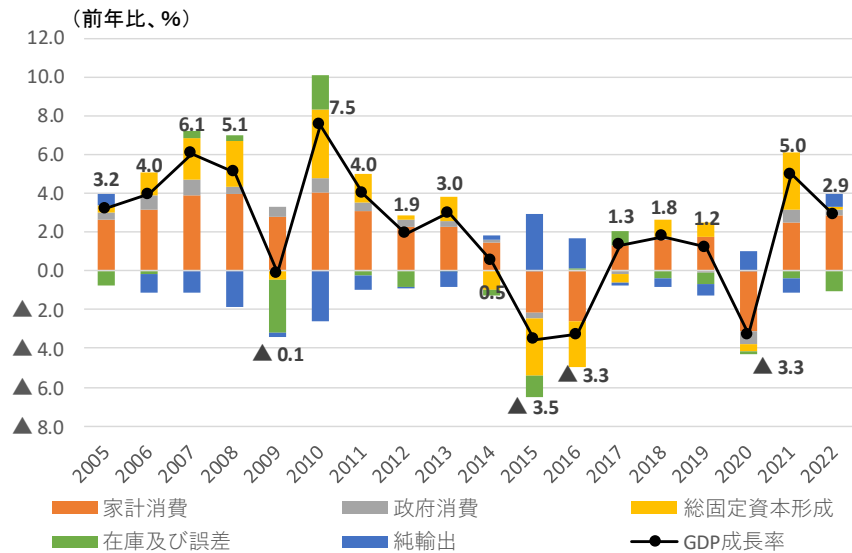
II. 経済の現状

ブラジル地理統計院(IBGE)が12月に発表した2023年第3四半期の実質GDP成長率は前期比+0.1%(3四半期連続のプラス)、前年同期比+2.0%(11四半期連続のプラス)となった。

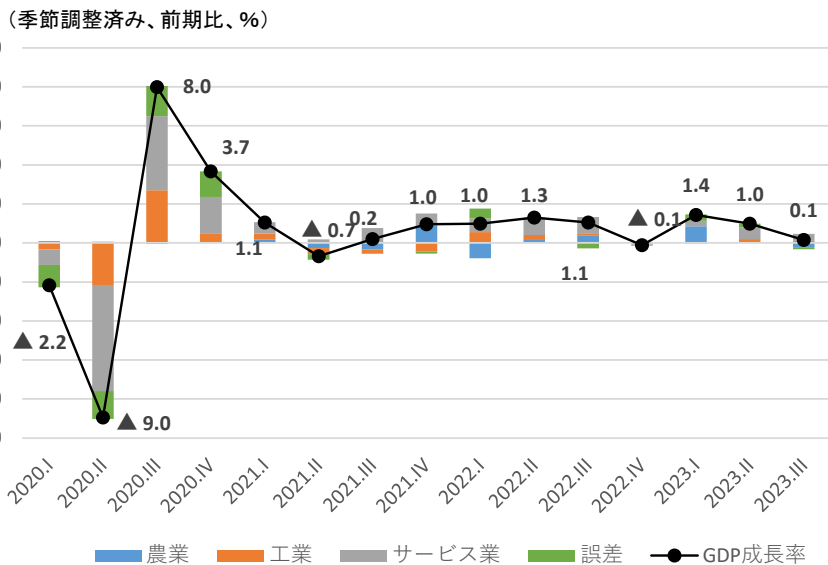
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)



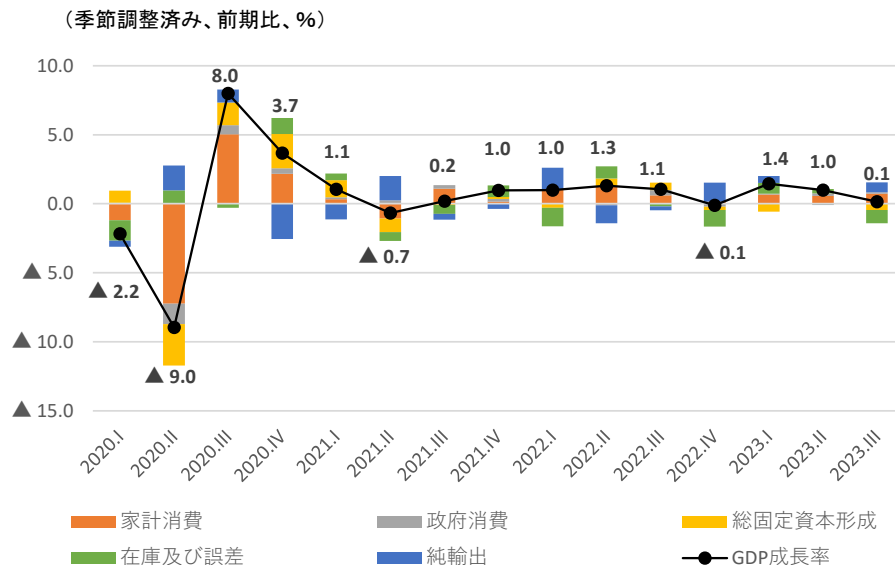
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)



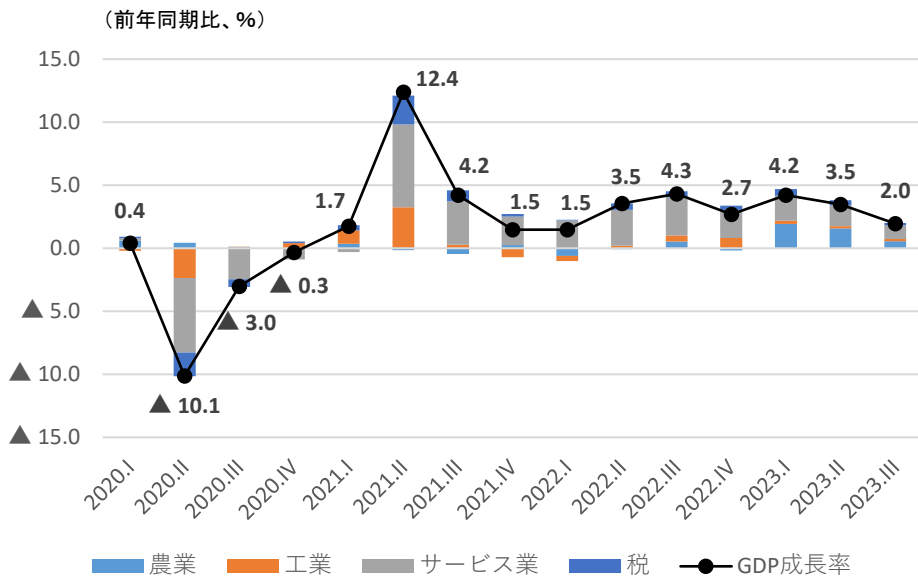
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)



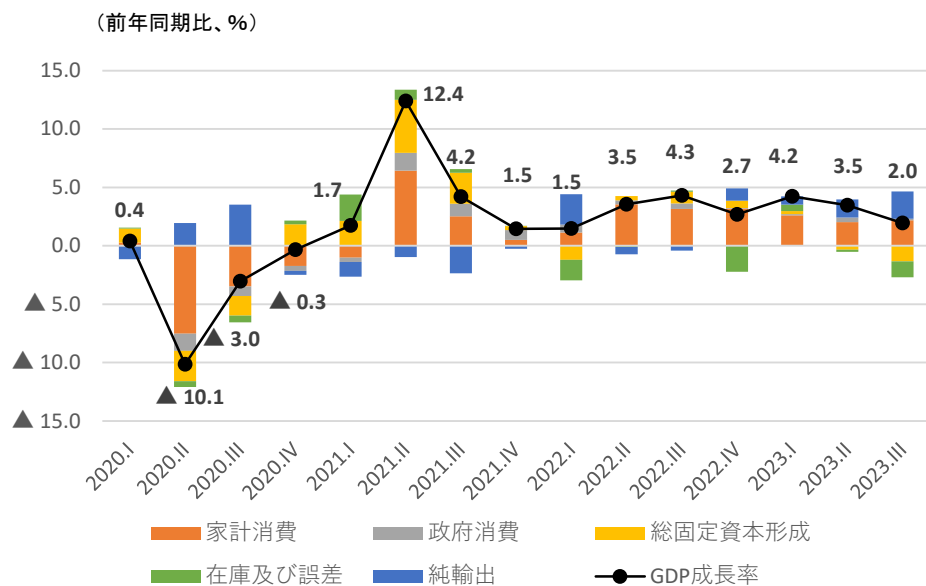
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)



実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)



実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典)伯地理統計院(IBGE)

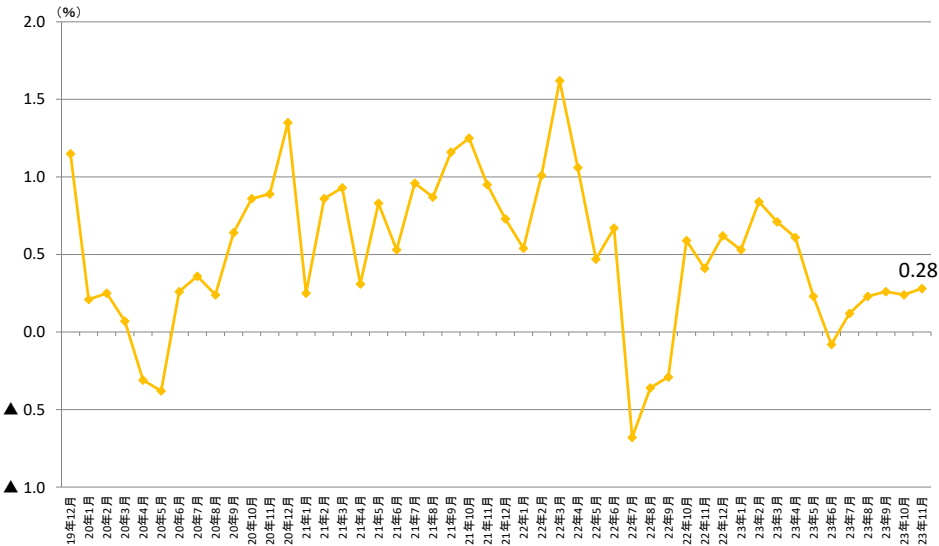
《各機関によるGDP成長率見通し》

	2023	2024
IMF (2023年10月)	+3.1%	+1.5%
伯財務省 (2023年11月)	+3.0%	+2.2%
伯中銀 (2023年12月)	+3.0%	+1.7%
伯中銀Focus (2023年12月29日)	+2.92%	+1.52%

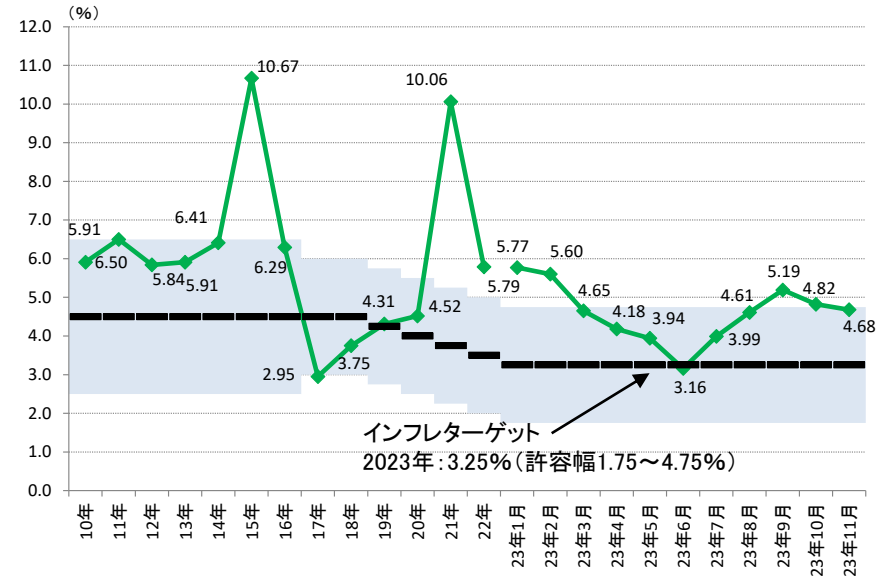
物価の動向と政策金利

11月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.28%、直近12か月累計では+4.68%となった。

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)

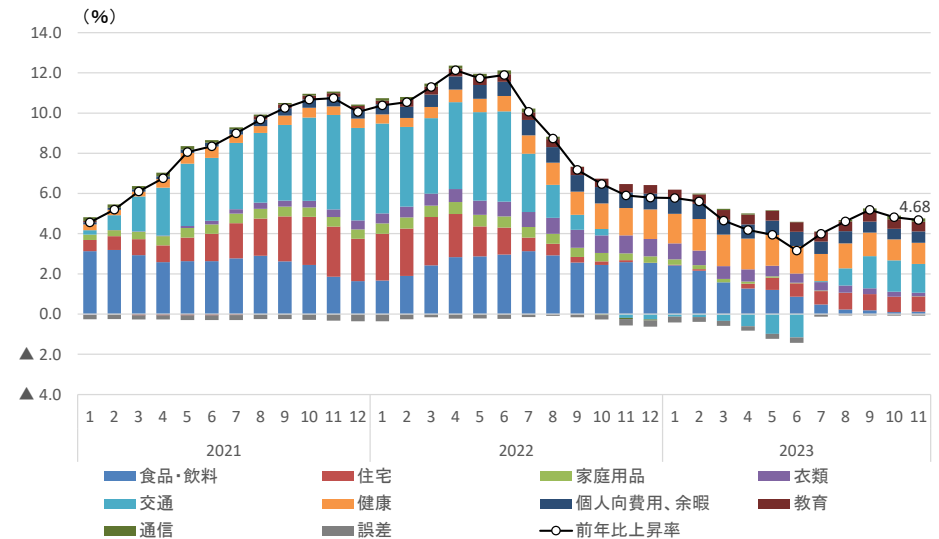


拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の項目別寄与度

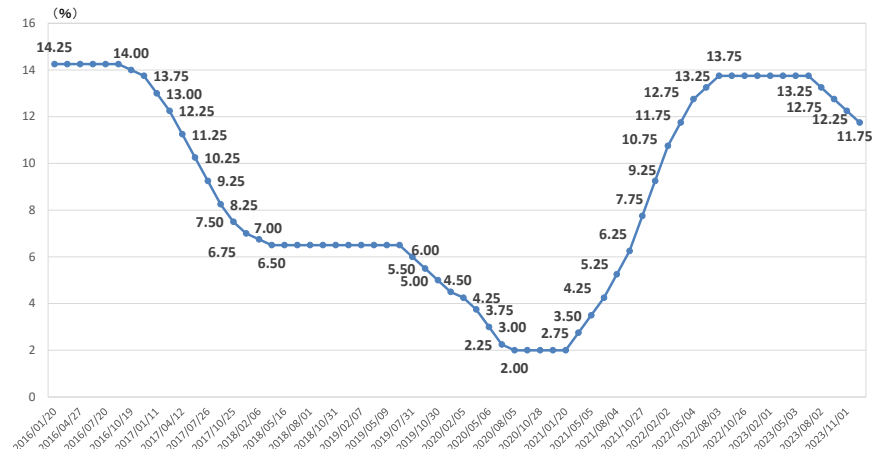


※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

政策金利の推移(2016年~)

12月12日及び13日に開催された伯中央銀行金融政策委員会 (Copom) において、政策金利であるSelic金利を50bp引き下げて11.75%とすることが決定された。次回会合は1月30日及び31日に開催予定。

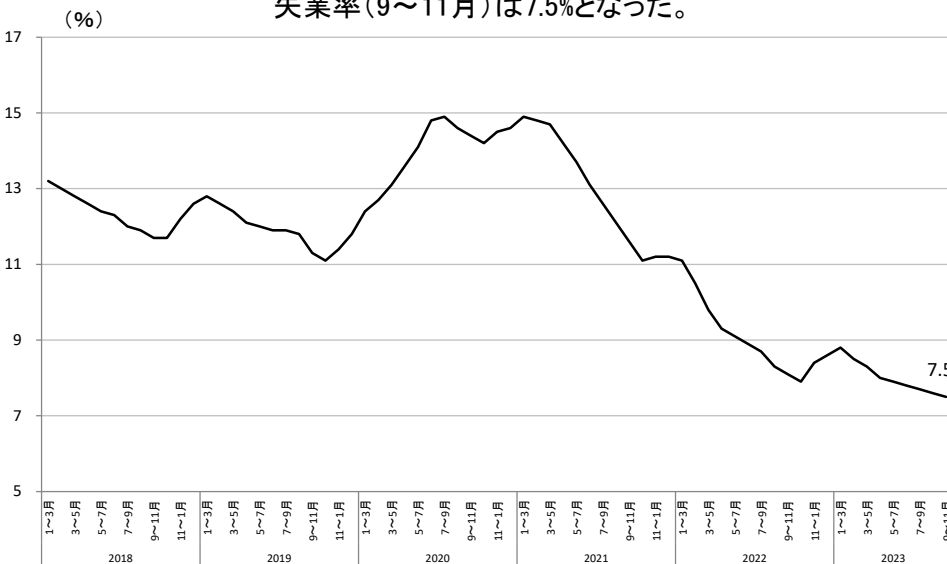


(出典) BCB 4

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移(3か月移動平均)

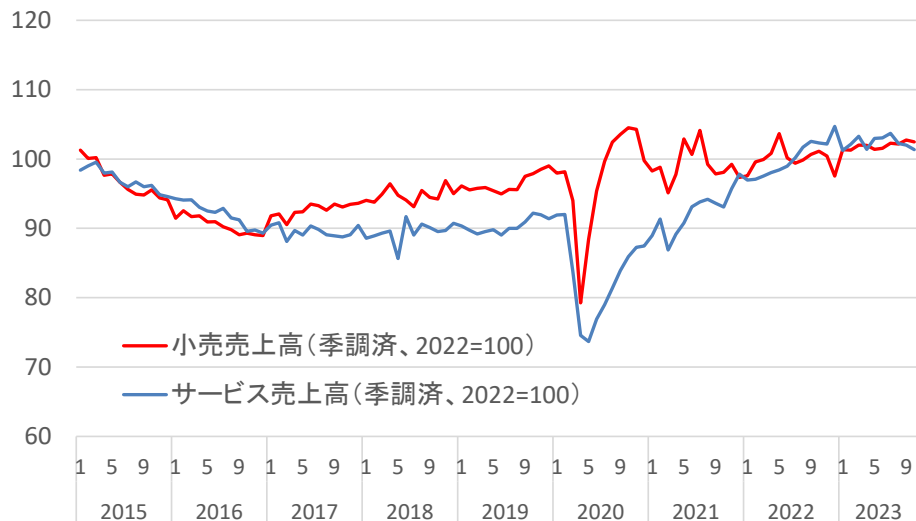
失業率(9~11月)は7.5%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

小売・サービス売上高指数の推移(月次)

小売売上高(10月)は前月比▲0.3%、前年同月比+0.2%となった。サービス売上高(10月)は前月比▲0.6%、前年同月比▲0.4%となった。

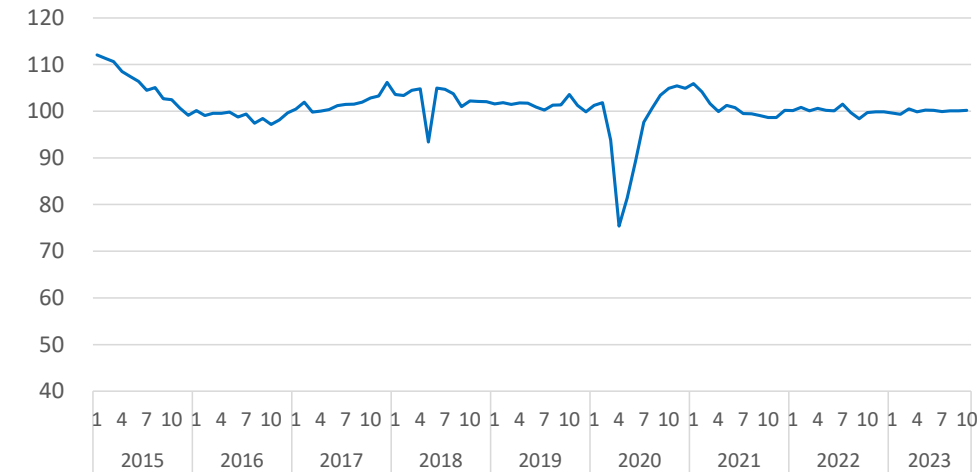


(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

鉱工業生産指数の推移(月次)

鉱工業生産(10月)は前月比+0.1%、前年同月比+1.2%となった。

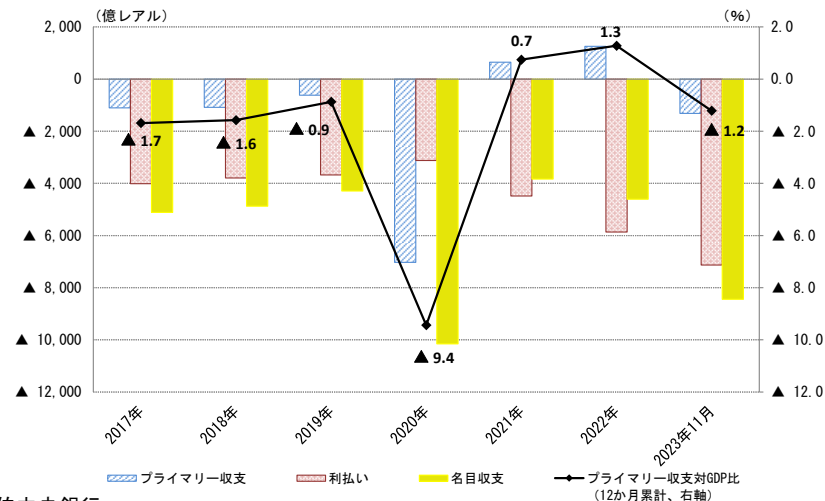
(2022年=100、季調済)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

財政収支の推移(12か月累計)

公的部門(連邦政府、地方政府、公営企業)の2023年11月のプライマリ収支(税収等と政策的経費の収支)は▲1,314億レアルの赤字、利払い費は▲7,134億レアルで、これらを合計した名目収支は▲8,448億レアルとなった。



(出典) 伯中央銀行

国際収支の動向

国際収支

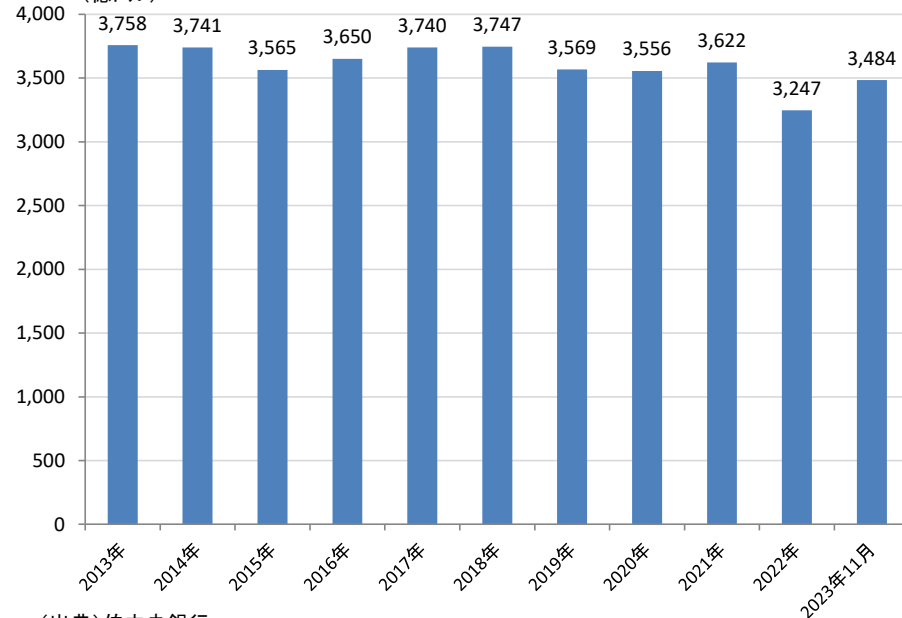
(億ドル)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 11月
経常収支	▲ 515	▲ 650	▲ 245	▲ 464	▲ 536	▲ 222
貿易収支	434	265	324	364	442	732
サービス収支	▲ 360	▲ 355	▲ 209	▲ 270	▲ 396	▲ 338
第1次所得収支	▲ 588	▲ 573	▲ 383	▲ 590	▲ 619	▲ 625
第2次所得収支	▲ 0	12	23	32	37	10
資本移転収支	4	4	41	2	2	3
金融収支	▲ 523	▲ 644	▲ 125	▲ 502	▲ 554	▲ 239
直接投資	▲ 761	▲ 464	▲ 413	▲ 302	▲ 539	▲ 296
対外直接投資	20	228	▲ 35	162	334	231
対内直接投資	782	692	378	464	872	527
証券投資	69	192	129	▲ 79	42	▲ 103
金融派生商品	28	17	54	▲ 10	▲ 20	▲ 58
その他投資	113	▲ 128	247	▲ 251	36	14

(出典) 伯中央銀行

外貨準備高

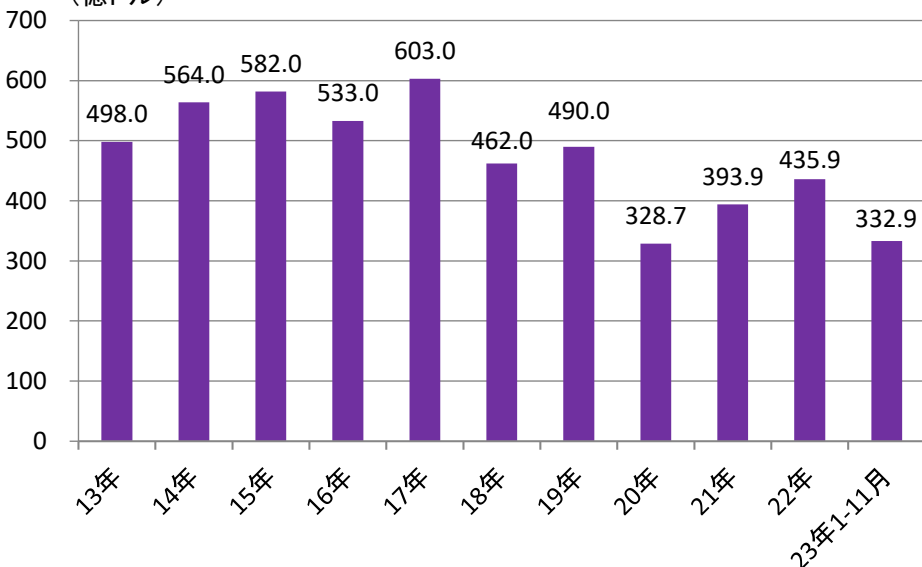
(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

外国直接投資(資本参加分)流入額

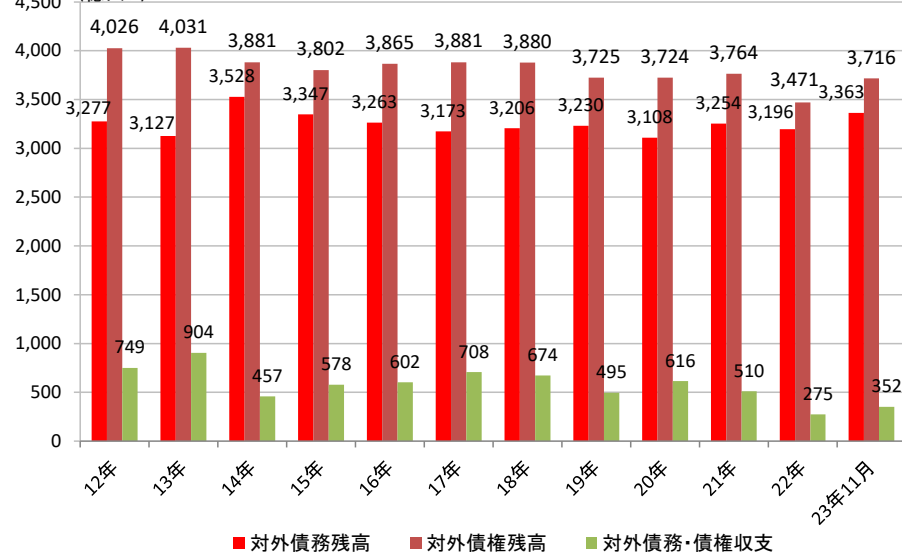
(億ドル)



(出典) 伯中央銀行 ※貸付は除く

対外債務・債権収支

(億ドル)



■ 対外債務残高 ■ 対外債権残高 ■ 対外債務・債権収支

(出典) 伯中央銀行

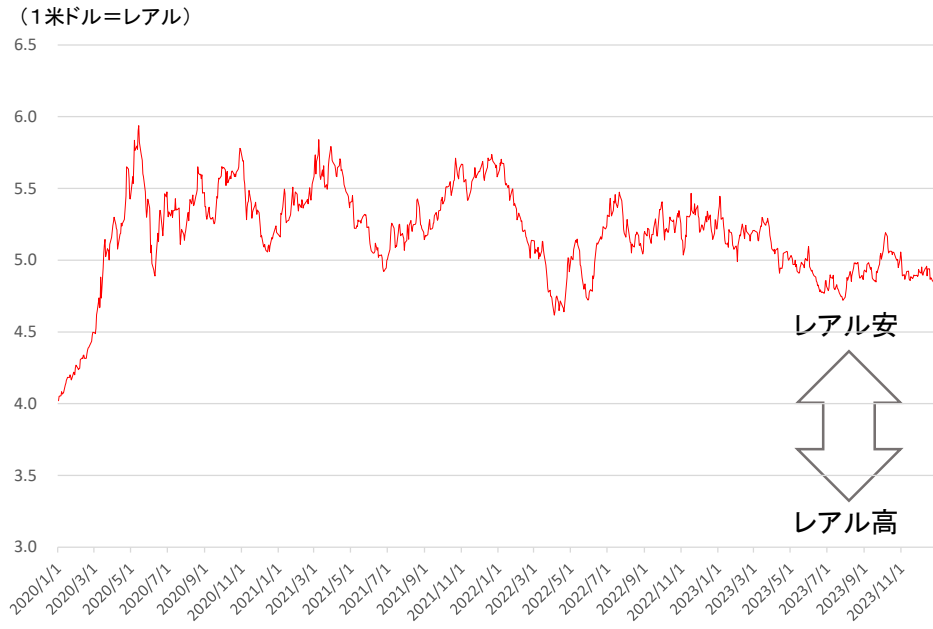
為替・株価の推移

12月の為替市場は4.83～4.96リアル/ドルで推移。

月の前半は4.89～4.96リアル/ドルで推移。内外の金融政策の見通しや伯経済の動向等を材料に上下して推移した。

月の後半は4.83～4.94リアル/ドルで推移。伯の税制改革の進展や信用格付けの引上げ等を材料に概ね上昇傾向で推移した。

為替の推移(対米ドル)



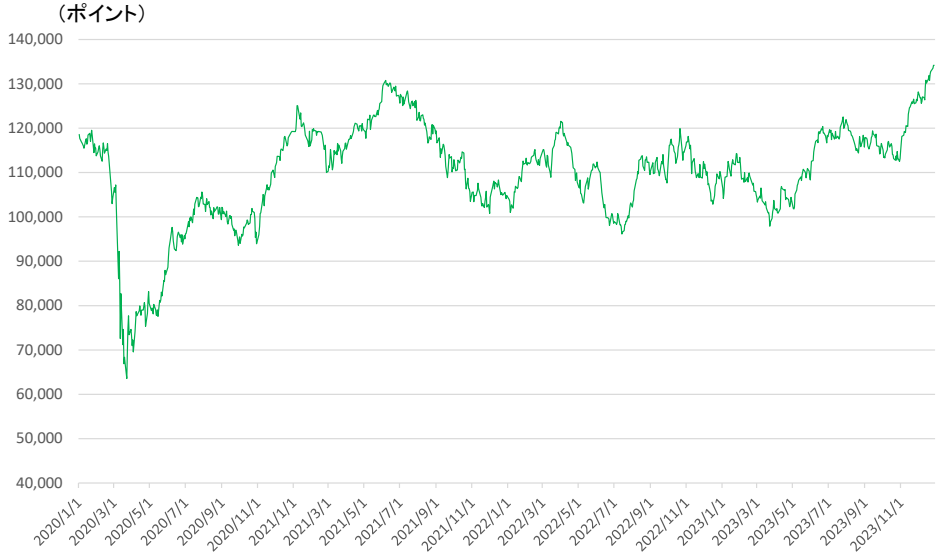
(出典) 伯中央銀行

12月の株式市場は125,623～134,194ポイントで推移。

月の前半は125,623～130,842ポイントで推移。内外の金融政策の見通しや資源価格の動向等を材料に上下して推移した。

月の後半は130,804～134,194ポイントで推移。伯の税制改革の進展や信用格付けの引上げのほか、資源価格の動向等を材料に、概ね上昇傾向で推移した。

株価指数(Ibovespa)の推移



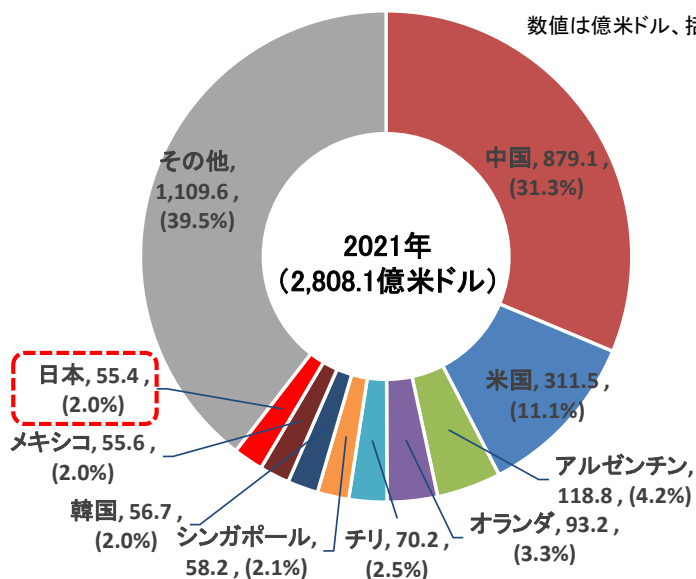
(出典) B3

Ⅲ. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2022年においては、日本は貿易相手国として輸出で9位、輸入で10位となっている。

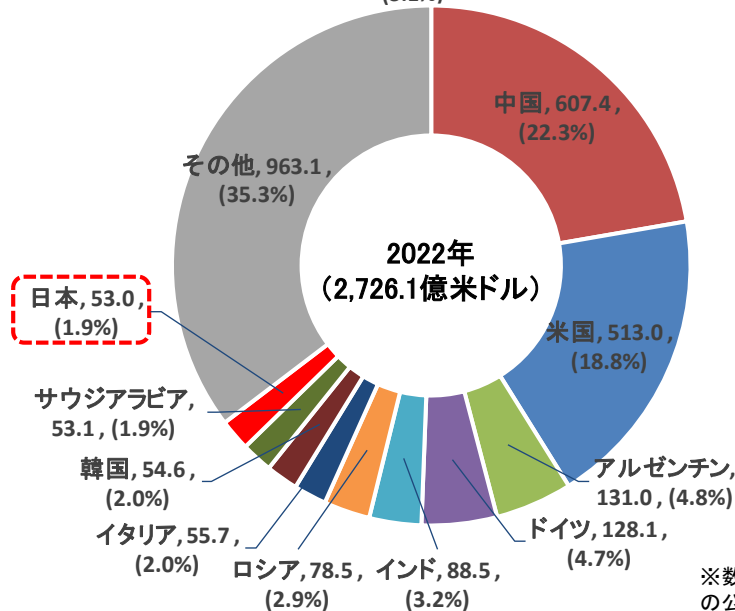
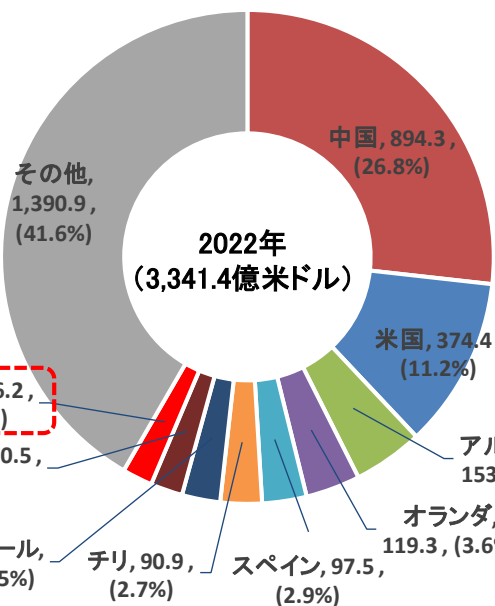
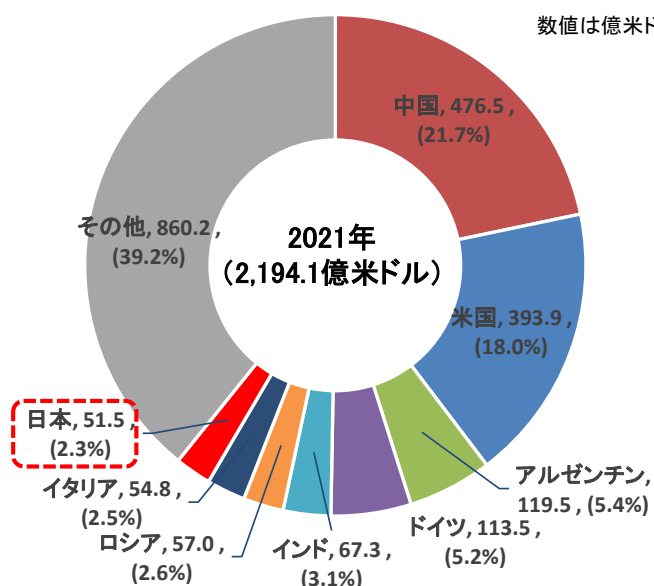
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



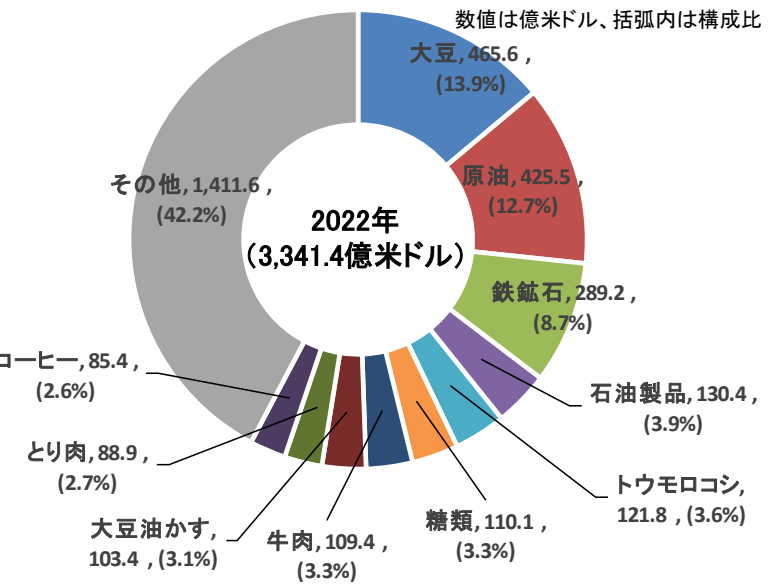
輸入額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



主要輸出品目は資源(原油、鉄鉱石等)、食品(大豆、トウモロコシ、糖類、肉類等)。主要輸入品目は石油製品、肥料、自動車部分品を中心に、電気機器など幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国



【大豆】

	億米ドル	構成比(%)
全体	465.6	100.0
① 中国	317.8	68.3
② スペイン	19.4	4.2
③ タイ	16.8	3.6
④ イラン	13.5	2.9
⑤ オランダ	11.3	2.4

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
全体	425.5	100.0
① 中国	165.3	38.8
② 米国	50.6	11.9
③ スペイン	35.7	8.4
④ チリ	31.3	7.4
⑤ ポルトガル	25.3	5.9

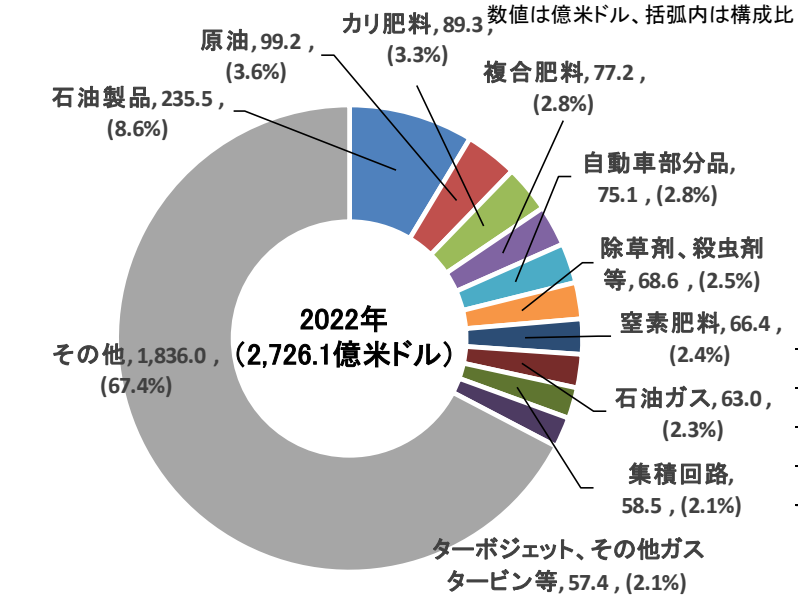
【鉄鉱石】

	億米ドル	構成比(%)
全体	289.2	100.0
① 中国	181.9	62.9
② マレーシア	15.2	5.3
③ バーレーン	13.3	4.6
④ 日本	11.0	3.8
⑤ 韓国	8.6	3.0

【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
全体	130.4	100.0
① シンガポール	58.6	44.9
② オランダ	8.8	6.8
③ 米国	4.9	3.8
④ ヴァージン諸島	4.8	3.7
⑤ パナマ	4.7	3.6

ブラジルの主要輸入品目と主要相手国



【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	235.5	100.0
米国	127.9	54.3
インド	25.9	11.0
UAE	22.4	9.5
オランダ	11.7	5.0
ロシア	11.1	4.7

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
合計	99.2	100.0
① サウジアラビア	32.0	32.3
② 米国	30.0	30.3
③ UAE	11.9	12.0
④ オランダ	5.8	5.9
⑤ ロシア	5.7	5.7

【カリ肥料】

	億米ドル	構成比(%)
合計	90.7	100.0
① カナダ	37.1	40.9
② ロシア	24.3	26.8
③ イスラエル	8.7	9.6
④ ドイツ	8.4	9.3
⑤ ベラルーシ	3.6	4.0

【複合肥料】

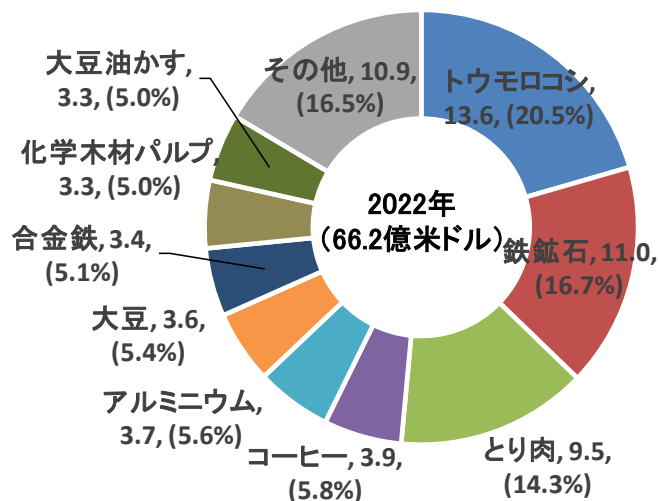
	億米ドル	構成比(%)
合計	77.2	100.0
① ロシア	22.4	29.0
② 米国	14.8	19.2
③ モロッコ	13.3	17.2
④ 中国	8.0	10.3
⑤ サウジアラビア	7.2	9.3

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（トウモロコシ、肉類、コーヒー、大豆等）、主要輸入品目は自動車関連が中心となっている。

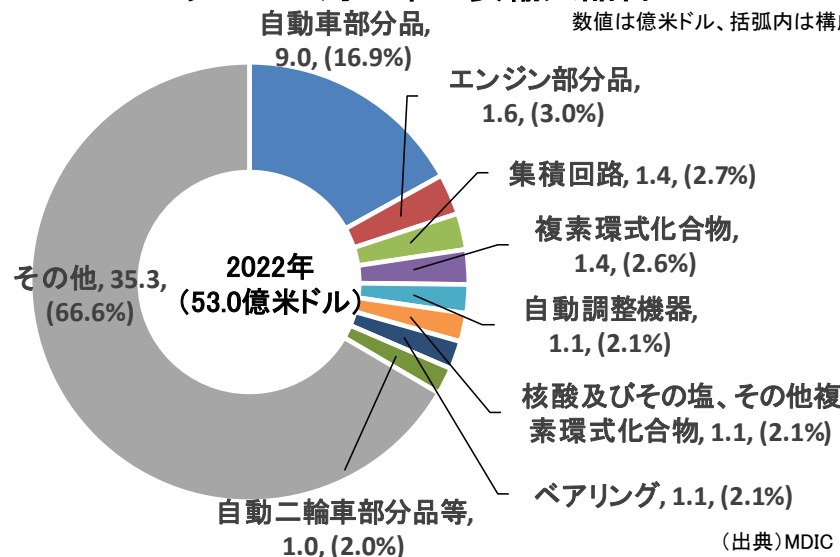
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) MDIC

※数値は2023年3月時点の公表値から算出

ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2022年)

品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)
【とうもろこし】			【鉄鉱石】			【とり肉】			【アルミニウム】		
総計	7,643.4	100.0	総計	18,050.2	100.0	総計	2,077.8	100.0	総計	9,206.4	100.0
① アメリカ合衆国	4,921.7	64.4	① オーストラリア	9,579.8	53.1	① <u>ブラジル</u>	1,407.5	67.7	① アラブ首長国連邦	1,711.6	18.6
② <u>ブラジル</u>	1,744.7	22.8	② <u>ブラジル</u>	5,818.4	32.2	② タイ	611.4	29.4	② ロシア	1,501.2	16.3
③ アルゼンチン	530.2	6.9	③ カナダ	1,313.9	7.3	③ アメリカ合衆国	33.6	1.6	③ オーストラリア	1,388.7	15.1
④ 南アフリカ共和国	379.6	5.0	④ 南アフリカ共和国	611.0	3.4	④ ハンガリー	6.2	0.3	④ ニュージーランド	681.0	7.4
⑤ ウクライナ	41.7	0.5	⑤ アメリカ合衆国	273.4	1.5	⑤ フランス	6.0	0.3	⑤ サウジアラビア	586.1	6.4
【コーヒー】			【大豆】			【合金鉄】			⑥ 中華人民共和国	503.6	5.5
総計	2,333.3	100.0	総計	3,391.0	100.0	総計	4,986.1	100.0	⑦ <u>ブラジル</u>	476.6	5.2
① <u>ブラジル</u>	572.6	24.5	① アメリカ合衆国	2,420.1	71.4	① カザフスタン	956.3	19.2			
② コロンビア	396.4	17.0	② <u>ブラジル</u>	570.1	16.8	② 中華人民共和国	557.3	11.2			
③ ベトナム	306.6	13.1	③ カナダ	364.6	10.8	③ ロシア	533.6	10.7			
④ エチオピア	179.9	7.7	④ 中華人民共和国	33.4	1.0	④ <u>ブラジル</u>	500.8	10.0			
⑤ グアテマラ	175.8	7.5	⑤ ロシア	2.7	0.1	⑤ マレーシア	497.0	10.0			

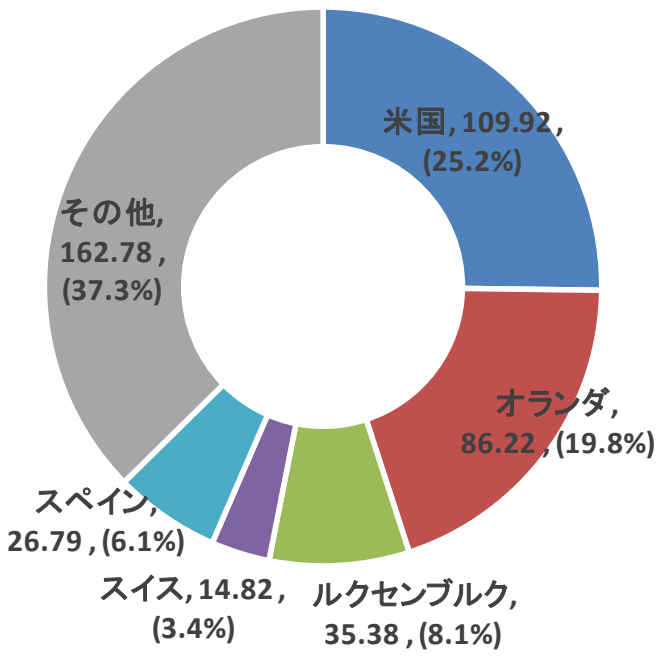
※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄(フェオアロイ)7202、大豆1201

(出典)財務省(日本)
※数値は2023年3月末時点の公表値から算出

IV. 日伯投資

対ブラジル直接投資(資本参加分)の国別構成比
総額435.9億ドル(2022年)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



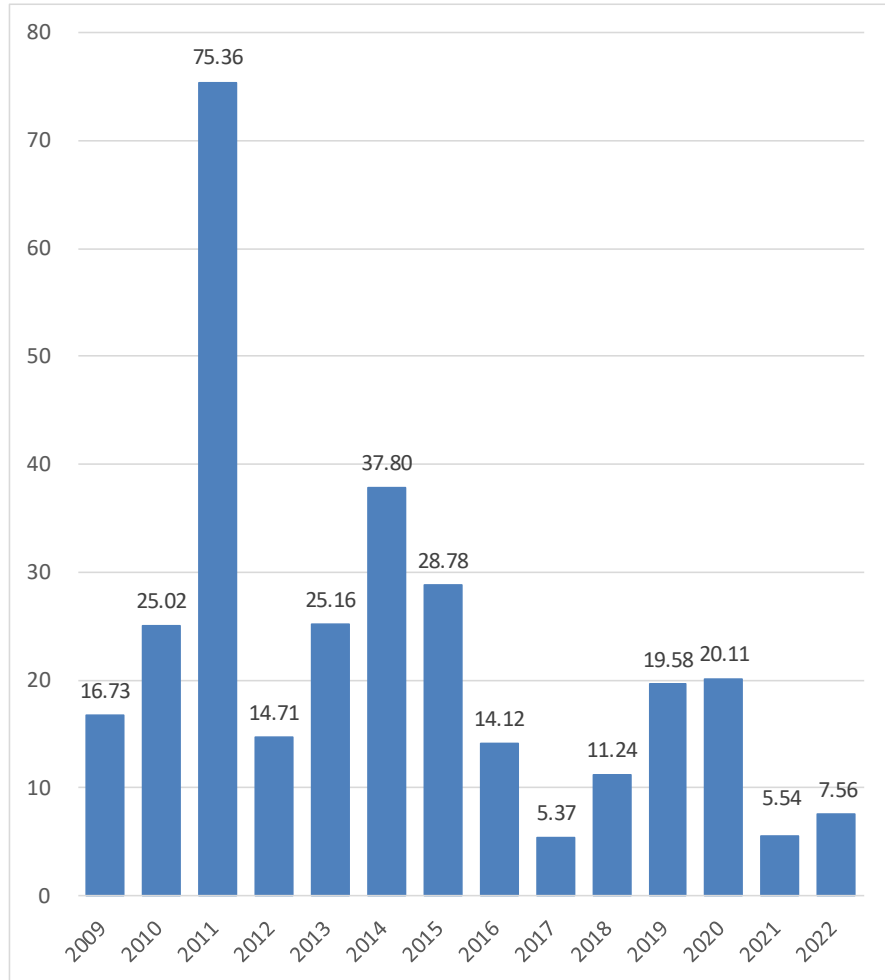
(出典) 伯中央銀行

2022年の日本の直接投資額(資本参加分)は7.56億ドルで構成比は1.73%と、10番目の規模。

※ 中国:0.35億ドル(0.08%)。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、実際よりも少ない数値となっている。

日本の対ブラジル直接投資(資本参加分)の推移

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行